

「今月の photo」 Mr. Y. の怪説つき作品（その 1）

① 「ナンヨウハギ」。

沖縄の「美ら海水族館」にて撮影。

この熱帯魚、体側の模様が指を丸めた ”OKサイン” によく似ている。



むかし琉球王朝宮廷では求愛応諾の印にこの魚を贈るならわしがあった。浜の漁民もこれに習い、求愛を受けた娘は この魚の”模様”を砂の上にそっと描いて応諾の意を相手に伝えたという。

” 応契（または応閨）砂印 ” の始まり・・・。
やがて種子島にも伝わるが たまたま漂流してきたポルトガル人が逗留中にその砂印の意を知り、その後は指を丸める “オーケーサイン” として世界中に広まったとか。 うそ辞典 800 ページ、鉄砲伝来余話より・

② 「ナントカ曲線」。

長島スパーランドのジェットコースターの曲線。



東名阪高速道路で、バスが長島スパーランドの近くを通った頃、乗客の何人かが急に不機嫌になっていた。

「上がる時はトロトロだが下がり出したら一挙だからね〜。」・・・株で大損した男。

「サインカーブだか コサイン曲線だかを思い出してね〜。」・・・学生時代、数学嫌いだった男。

「やたら膨らんでいたらいいってもんじゃないわよね〜。」
・・・ナントカ姉妹にはとても叶わない姉妹。

③ 「花の名が ワカリマセン ので・・・」 鶴見緑地「咲くやこの花館」にて。



毛織物を羅紗（ラシャ）というなら 絹織物は和紗（ワシャ）と言えないか・・・。

幕末の頃 堂島川にて 怪しき舟から 多量のラシャ（羅紗）と名前不詳のこの花が押収された。

与力 “若津辰盛” らが取り調べ 「蘭らしきゆえ 蘭学の大家に聞くべし」と配下の同心を適塾に走らせた。

緒方洪庵先生は 「ワシャシラン」と仰せでしたとの報告に ナルホド と呟いた与力は 紅紫の絹の様な花卉と 傍らの分厚い毛織物を 横目で見比べながら 「羅紗 三十八反 及 “和紗紫蘭” 一鉢」と押収物件目録に記し 大坂町奉行 “本間甲斐守” に報告したという。

ワカタツメリ・・・? ホンカイヤ・・・?

・ 杉田幻覚 著 「蘭学ウソ始」 浪花上塗り版 より -

暑中お見舞い申し上げます

平成 29 年盛夏

山口高弘